



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社BuySell Technologies 上場取引所 東
コード番号 7685 URL <https://buysell-technologies.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 徳重 浩介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 小野 晃嗣 TEL 03(3359)0830
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		のれん等償却前 営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	73,635	66.6	8,562	98.1	7,514	102.5	7,093	116.2	4,321	144.9
2024年12月期第3四半期	44,190	48.2	4,321	113.2	3,711	139.6	3,280	115.5	1,764	149.7

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 4,334百万円（145.1％） 2024年12月期第3四半期 1,768百万円（150.1％）

※ のれん等償却前営業利益（営業利益＋のれん償却額＋顧客関連資産償却額）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	145.12	143.64
2024年12月期第3四半期	61.68	61.29

（注）当社は、2024年11月14日開催の取締役会の決議に基づき、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	53,322	20,368	37.4
2024年12月期	46,376	12,494	26.2

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 19,948百万円 2024年12月期 12,163百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当率 （連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00	438	17.9	4.2
2025年12月期	—	0.00	—					
2025年12月期（予想）				25.00	25.00		—	

（注）1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2024年11月14日開催の取締役会の決議に基づき、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い2024年12月期の配当金は当該株式分割前、2025年12月期（予想）は当該株式分割後の1株当たり配当金の額となります。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		のれん等償却前 営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	100,000	66.7	10,397	86.7	9,000	90.1	8,400	100.1	5,200	115.7	174.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ のれん等償却前営業利益（営業利益＋のれん償却額＋顧客関連資産償却額）

※ 注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社（社名）海南拜塞尔中古科技有限公司

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	30,868,120株	2024年12月期	29,249,240株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	29,011株	2024年12月期	12,316株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	29,780,983株	2024年12月期 3 Q	28,606,768株

（注）当社は、2024年11月14日開催の取締役会の決議に基づき、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い発行済株式数（普通株式）は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「人を超え、時を超え、たいせつなものをつなぐ架け橋となる。」をミッションとし、買取・販売の循環を実現する総合リユースサービスを提供しております。当社グループの事業は出張訪問買取事業と店舗買取事業を主としており、これらのチャネルで一般のお客様から買取した商品をグループ会社が運営するオークションや業者間取引によるtoB販路および自社運営等のtoC販路において販売しております。

また、当社グループは非連続な成長を実現するため、明確なM&Aターゲット領域の設定とデータドリブン経営を軸にしたPMIによるシナジーを重視したM&A戦略を推進しております。2020年の株式会社タイムレスの子会社化を始め、これまで5社のM&Aを実施しており、2024年10月に完全子会社化したレクストホールディングス株式会社およびその子会社を含め、当社グループは合計14社（非連結子会社1社を除く）で構成されております。

当社グループの出張訪問買取事業は、当社が運営する出張訪問買取サービス「バイセル」と2024年10月に完全子会社化したレクストHD株式会社の中核子会社である株式会社REGATEの「買取 福ちゃん（FUKU CHAN）」の2社により構成されており、国内出張訪問買取サービスにおいて国内最大級のポジショニングを確立しております。

当社グループの店舗買取事業は、全国主要都市に店舗を展開する「バイセル」、全国百貨店内に店舗を展開する「総合買取サロン タイムレス」、FCを中心に200店舗超を展開する「Reuse Shop WAKABA」、高級ブランド品に強みを持つ買取・販売店舗「ブランドピース」、全国のSC等を中心に買取店舗を展開する「買取むすび」により構成されており、2025年9月末時点でのグループ店舗数は461店となっております（内、WAKABAのFC店舗数は259店）。

当第3四半期連結累計期間のグループ出張訪問買取事業は、第1四半期連結会計期間からREGATEの「買取 福ちゃん（FUKU CHAN）」及び日晃堂の出張訪問数が当事業に加わったこと、バイセルに加えて「買取 福ちゃん（FUKU CHAN）」のPMI推進による再訪率の大幅な向上やインサイドセールス部門によるアポイントメント率の向上等により、出張訪問数は325,261件（前年同期比59.8%増）となりました。また、継続的なイネーブルメントによる査定員のスキル向上や単価が高い傾向にある再訪数が増加したこと等により、訪問粗利単価は継続的に前年同期を上回りました。これらの結果仕入高が大幅に増加し、販売は翌期に向けた戦略的な在庫水準の確保を行いつつ、堅調に推移したことから、重要KPIである「^{※1} 出張訪問あたり変動利益」は52,329円（前年同期13.2%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間のグループ店舗買取事業は、前期の第1四半期はP/L未連結であった株式会社むすびや当期よりP/L連結を開始したREGATEの店舗事業の業績が加わったこと、グループ各社の新規出店が予定通り進捗していること、グループ連携によるリピート顧客獲得の強化施策が奏功し、査定あたり単価が向上したことなどから、重要KPIである仕入高は25,737百万円（前年同期比44.4%増）と順調に増加いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高73,635百万円（前年同期比66.6%増）、のれん等償却前営業利益8,562百万円（前年同期比98.1%増）、営業利益7,514百万円（前年同期比102.5%増）、経常利益7,093百万円（前年同期比116.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,321百万円（前年同期比144.9%増）となりました。

^{※1} 出張訪問あたり変動利益＝「1訪問あたりの売上総利益－1訪問の獲得に投下した広告宣伝費」

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて7,978百万円増加し、31,798百万円（前期末比33.5%増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び海外募集による新株式発行による現金及び預金の増加7,718百万円、売掛金の増加459百万円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,031百万円減少し、21,524百万円（前期末比4.6%減）となりました。これは主に、のれんの償却による減少841百万円、顧客関連資産の償却による減少206百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて72百万円増加し、13,200百万円（前期末比0.6%増）となりました。これは主に、短期借入金の減少1,000百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加379百万円、未払法人税等の増加325百万円、流動負債のその他の増加497百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,000百万円減少し、19,753百万円（前期末比4.8%減）となりました。これは主に、長期借入金の減少903百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて7,874百万円増加し、20,368百万円（前期末比63.0%増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加4,321百万円、海外募集による新株式発行等を行ったことによる資本金1,942百万円及び資本剰余金1,942百万円の増加、第11回ストックオプションの発行等による新株予約権88百万円の増加がある一方で、剰余金の配当による利益剰余金の減少438百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、グループ出張訪問買取事業及びグループ店舗買取事業において、買取・販売が好調に推移したことや、生産性向上に伴う販管費の効率化が進み、社内計画を上回る進捗となりました。当第4四半期連結会計期間において、翌期に向けた戦略的な在庫水準の確保、ブランディング強化に伴う広告宣伝投資の追加投資等を計画しているものの、足元の各事業の順調な状況等を踏まえ、通期連結業績予想を上方修正しております。

詳細は本日公表いたしました「2025年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,217,970	20,936,800
売掛金	766,199	1,225,806
商品	9,023,200	8,891,776
その他	828,504	759,668
貸倒引当金	△15,198	△15,326
流動資産合計	23,820,676	31,798,725
固定資産		
有形固定資産	2,022,337	1,947,760
無形固定資産		
のれん	16,182,909	15,341,197
顧客関連資産	756,294	550,032
その他	1,540,774	1,576,705
無形固定資産合計	18,479,979	17,467,936
投資その他の資産		
その他	2,071,417	2,126,061
貸倒引当金	△17,579	△17,579
投資その他の資産合計	2,053,838	2,108,482
固定資産合計	22,556,155	21,524,178
資産合計	46,376,831	53,322,904
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,700	99,258
短期借入金	1,000,000	—
1年内償還予定の社債	74,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	5,502,814	5,881,868
未払法人税等	1,445,425	1,770,583
賞与引当金	420,683	296,907
その他	4,640,322	5,138,051
流動負債合計	13,127,947	13,200,668
固定負債		
社債	51,000	37,000
長期借入金	20,292,602	19,389,193
資産除去債務	238,640	246,381
その他	172,030	81,033
固定負債合計	20,754,273	19,753,608
負債合計	33,882,220	32,954,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	902,889	2,847,475
資本剰余金	3,184,630	5,129,216
利益剰余金	8,092,166	11,975,503
自己株式	△20,536	△20,621
株主資本合計	12,159,149	19,931,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,050	16,470
為替換算調整勘定	—	593
その他の包括利益累計額合計	4,050	17,063
新株予約権	331,411	419,990
純資産合計	12,494,611	20,368,628
負債純資産合計	46,376,831	53,322,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	44,190,699	73,635,190
売上原価	20,694,140	34,432,316
売上総利益	23,496,558	39,202,874
販売費及び一般管理費	19,785,217	31,688,323
営業利益	3,711,341	7,514,551
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,032	27,368
固定資産売却益	—	5,787
その他	21,644	14,247
営業外収益合計	22,677	47,403
営業外費用		
支払利息	83,553	304,130
社債利息	511	315
支払手数料	365,794	21,173
株式交付費	—	101,690
その他	3,243	41,273
営業外費用合計	453,103	468,583
経常利益	3,280,916	7,093,372
特別利益		
新株予約権戻入益	13,500	8,687
特別利益合計	13,500	8,687
税金等調整前四半期純利益	3,294,416	7,102,059
法人税、住民税及び事業税	1,548,962	2,860,721
法人税等調整額	△19,238	△80,552
法人税等合計	1,529,724	2,780,169
四半期純利益	1,764,692	4,321,890
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,764,692	4,321,890

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	1,764,692	4,321,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,630	12,420
為替換算調整勘定	—	593
その他の包括利益合計	3,630	13,013
四半期包括利益	1,768,322	4,334,903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,768,322	4,334,903

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月17日を払込日とする海外募集による新株式発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,933,128千円増加しております。これを主な要因として、当第3四半期連結会計期間末における資本金は2,847,475千円、資本剰余金は5,129,216千円となりました。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	409,794千円	618,661千円
のれん償却額	403,819 "	841,711 "
顧客関連資産償却額	206,262 "	206,262 "

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは、「着物・ブランド品等リユース事業」を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは、「着物・ブランド品等リユース事業」を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

前連結会計年度まで非連結子会社であった海南拜塞尔中古科技有限公司は、重要性が増したことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。